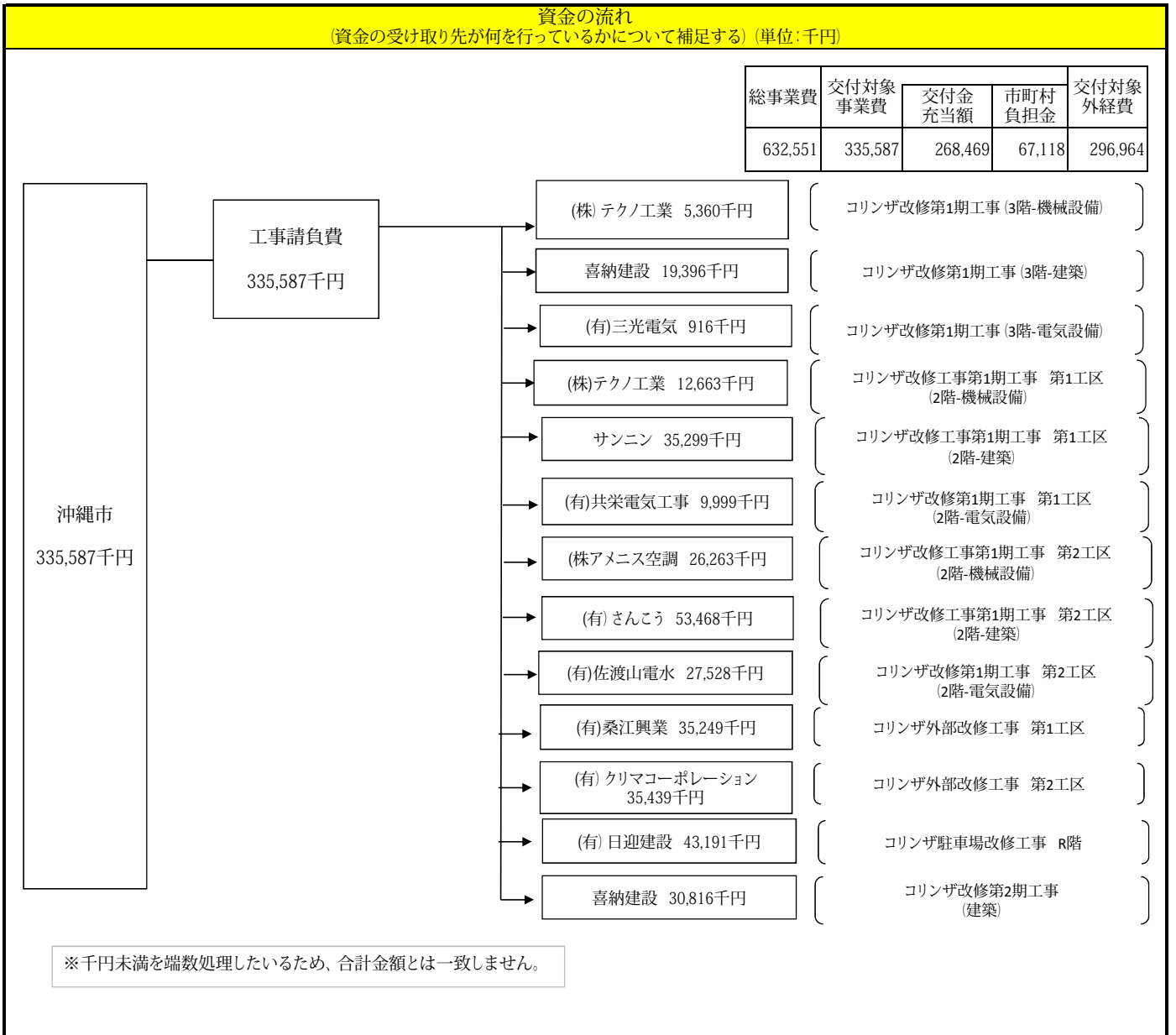


市町村名	沖縄市						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑥	(仮称)雇用促進施設等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	経済文化部 企業誘致課	事業実施(予定)年度	平成26~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ-2		
事業内容	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		245,919	370,648	-		
			245,919	335,587	-		
			0	▲ 35,061	-		
			-	0	0		
	B. 執行済額	245,919	20,428	315,159			
	うち交付金充当額	196,735	16,342	252,127			
	次年度繰越額	0	315,159	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	6.1%	100.0%			
	予算の状況の説明	入居中の企業との移設協議等の調整に不測の日数を要したため、年度内の工事完了が困難となり、工事費にかかる315,159千円を平成28年度に繰越した。 なお、年度発注分の工事が、年度内の完了が困難となったことから不用額を補正減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	
	雇用促進施設としての再整備のため、修繕・改修工事を行う。	目標	(修繕・改修)	()	()	()	
		実績	修繕・改修				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	雇用促進施設としての再整備のため、平成27年度及び平成28年度に修繕・改修工事(建築工事、機械工事、電気工事等)を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度(繰越)	29年度	目標値(年度)	
	修繕・改修工事の完了(達成率100%)	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成27年度で整備が完了し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図ってきたい。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	施設整備に当たり、入居中の企業の移転が必要となるが、移設協議等の調整に不測の日数を要したため、年度内の工事完了が困難となった。	事業実施に際しては、工事発注前において、入居企業等の調整を行うなど、事業期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。

今後の取り組み方針
<p>・平成29年4月に一部供用開始しており、未整備部分においては引き続き整備に取り組む。</p> <p>・企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図っていきたい。</p>

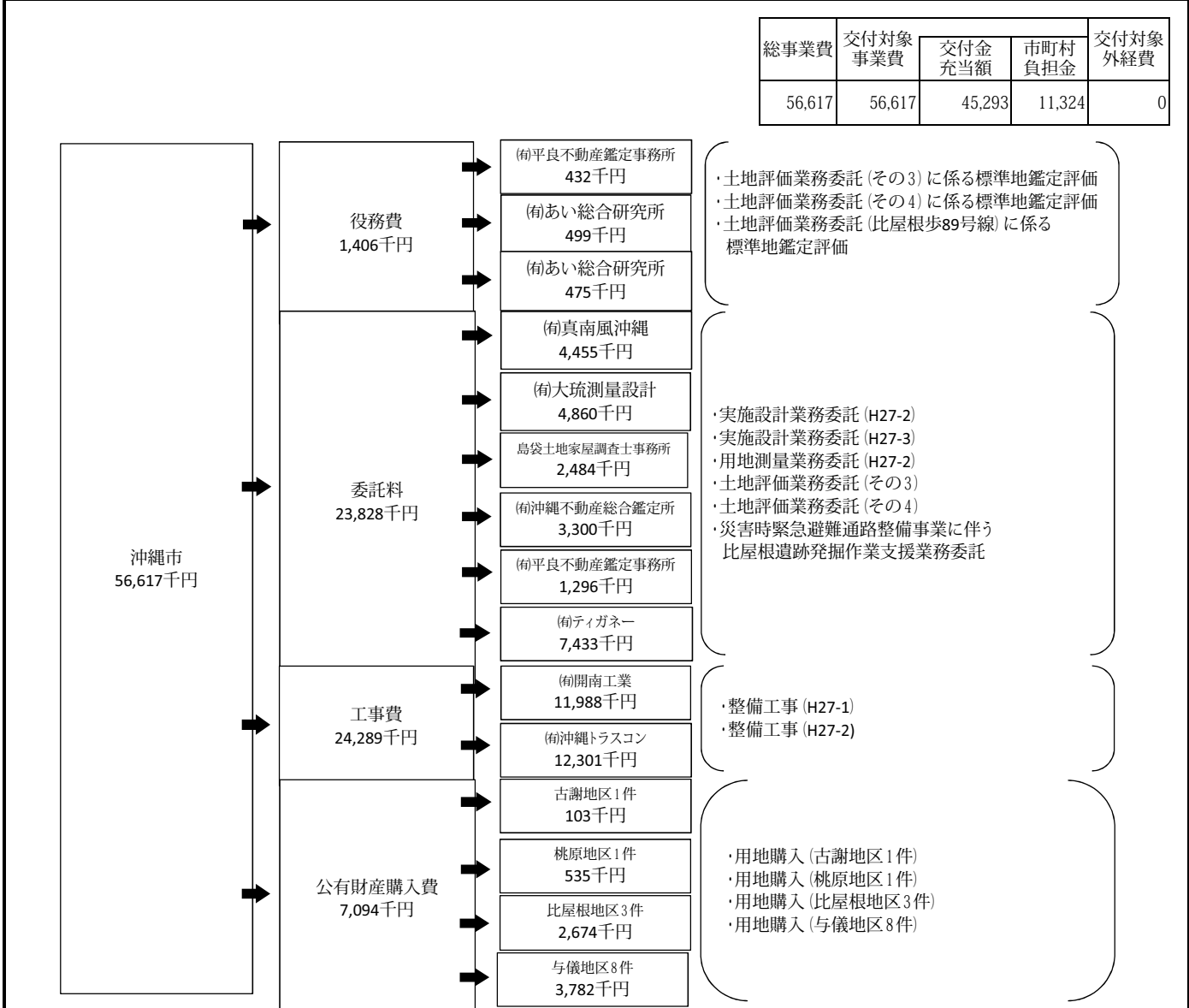


資金の流れる点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れる点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、事業計画等に基づき精査当を行っており、適正規模となっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	災害時緊急避難通路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III-10-(2)		
事業内容	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,435	—	76,733	—	
		(b) 予算現額	12,850	—	72,076	—	
		(c) 増減額(b-a)	▲9,585	—	▲4,657	—	
		(d) 繰越額	—	8,601	—	46,442	
	A. 計(b+d)		12,850	8,601	72,076	46,442	
	B. 執行済額		4,173	8385	25,634	30,983	
	うち交付金充当額		3,339	6708	20,507	24,786	
	次年度繰越額		8,601	0	46,442	0	
	執行率(%) (B/A)		32.5%	97.5%	35.6%	66.5%	
予算の状況の説明		予算の減額及び不要となった理由は、県より平成26年11月に土砂災害警戒区域の説明を受け、区域内に位置する路線の整備について保留とし、平成27年度に計画を見直したことから、予算額と実施額とで差が生じたこととなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
	・実施設計の実施 ・用地測量の実施 ・用地購入の実施 ・整備工事の実施	目標	(実施設計・用地測量 用地購入の実施)	(実施設計・用地測量 用地購入・整備工事 の実施)	()	()	
		実績	実施設計・用地測量 用地購入の実施	実施設計・用地測量 用地購入・整備工事			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
	達成状況説明	平成27年度より、3路線の用地測量を実施し、平成27年度繰越より2路線の実施設計、4路線の用地購入、2路線の整備工事を実施をした。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	目標値(年度)	
	・実施設計2箇所の完了 ・用地測量3箇所(H26実施設計箇所)の完了 ・用地購入3箇所(H26実施設計箇所)の完了 ・整備工事3箇所(H25実施設計箇所)の完了	目標	()	(6箇所)	(設計2箇所 測量3箇所 購入3箇所 工事3箇所)	()	()
		実績		6箇所	設計2箇所 測量3箇所 購入4箇所 工事2箇所		
	※整備工事の完了により津波時における住民の徒歩による避難通路を確保することができ、自然災害からの被害軽減が図られる。 (整備予定である10路線中3路線の完了)	目標	()	()	(3路線の完了)	()	()
		実績			1路線と1路線の一部の完了		
	進捗状況説明	平成27年度に予定していた用地購入・整備工事を繰り越して行い、古謝地区1路線、桃原地区1路線、比屋根地区1路線、与儀地区1路線について用地購入、古謝地区の1路線、比屋根地区の1路線について整備工事を行った。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	県より平成26年11月に土砂災害警戒区域の説明を受け、区域内に位置する路線の整備について保留とし、整備計画の見直しを行う必要が生じた。	土砂災害警戒区域内に位置している計画路線について、整備方針の検討、それに伴う整備スケジュールの見直しを行う。
	今後の取り組み方針	
見直しを行った整備計画に基づき、各路線の整備に取り組んで行く。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当だったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△予算規模については執行率が66.5%となっているため、予算額と実施額に差が生じている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか検査、確認しており、適正であったと考える
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

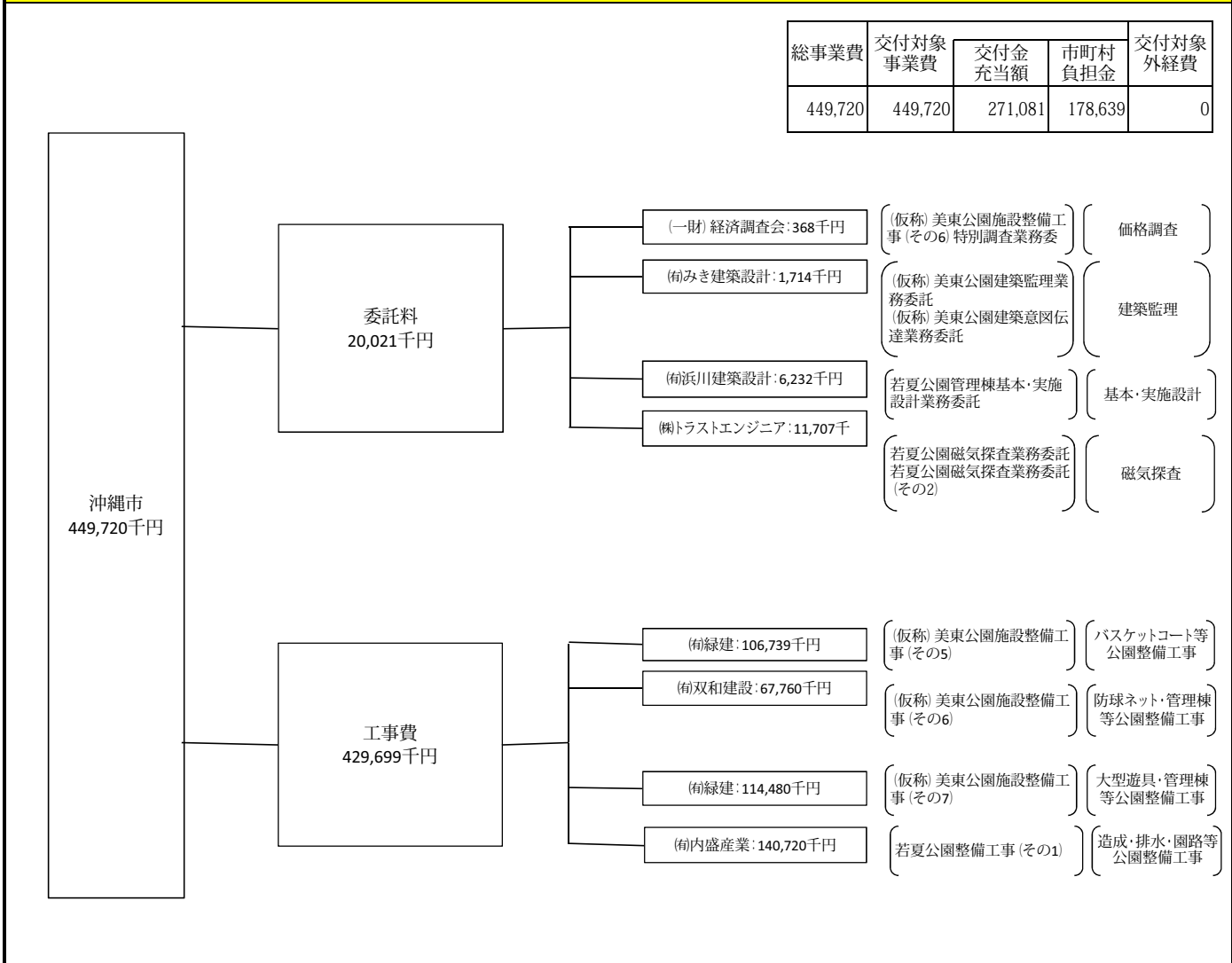
市町村名	沖縄市						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	コミュニティーパーク整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 III-1-(1)	
事業内容	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを伺いながら公園の基本設計を策定し、実施設計及び公園整備工事を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	150,023	—	449,720	—	
		(b) 予算現額	150,023	—	449,720	—	
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	—	
		(d) 繰越額	—	138,165	—	339,520	
	A. 計(b+d)		150,023	138,165	449,720	339,520	
	B. 執行済額		11,859	138,165	110,200	339,520	
	うち交付金充当額		9,486	110,532	88,160	182,921	
	次年度繰越額		138,165	0	339,520	0	
	執行率(%) (B/A)		7.9%	100.0%	24.5%	100.0%	
予算の状況の説明		(仮称)美東公園においては、磁気探査時に異常点が確認でき、異常点の確認探査に不測の日数を要したことから、工事着手時期が当初の予定より大幅に遅れた。 また、地域から防球ネット等の要望や再検討などに時間を要したため、契約繰越となった。 若夏公園においては、磁気探査時に異常点が確認でき、異常点の確認探査に不測の日数を要したため、契約繰越となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	(仮称)美東公園 管理棟、トイレ、遊戯施設、その他施設整備工事及び建築監理業務委託等の実施	目標	(確認探査造成工事)	(修景設計公園整備工事)	(公園整備工事)	()	
		実績	確認探査造成工事	集計設計公園整備工事	公園整備工事		
	若夏公園 造成工事、園路工、排水工、多目的広場、その他施設整備工事及び管理棟実施設計、磁気探査、確認探査の実施	目標	(基本設計)	(実施設計)	(基本・実施設計整備工事)	()	
		実績	基本設計	実施設計	基本・実施設計整備工事		
達成状況説明	平成27年度の活動目標については、全ての目標を達成することができた。 (仮称)美東公園においては、公園整備工事及び建築監理業務委託等を実施した。 若夏公園においては、建築物の実施設計及び磁気探査、公園整備工事を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	(仮称)美東公園 施設整備工事の完了	目標	()	(確認探査造成工事)	(修景設計公園整備工事)	(工事完了)	(公園整備工事)
		実績		確認探査造成工事	集計設計公園整備工事	工事完了	
	若夏公園 管理棟基本設計及び実施設計の完了 施設整備工事の完了(平成27年度施工分)	目標	()	(基本設計)	(実施設計)	(実施設計完了工事完了)	(公園整備工事)
		実績		基本設計	実施設計	実施設計完了工事完了	
	進捗状況説明	平成27年度の成果目標については、全ての目標を達成することができた。 (仮称)美東公園においては、公園施設整備工事等を完了した。 若夏公園においては、管理棟基本設計及び実施設計の完了、施設整備工事を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	市民の健康づくりや地域コミュニティ等を促進するため、地域と意見交換を行い基本計画、基本設計、実施設計を実施したが、工事を実施する中で地域から新たな意見・要望等があったことから、実施設計においてより多くの時間を費やす必要があった。 また、公園全体に磁気異常点が多く確認できたため、本工事とは別に磁気探査業務(確認探査)が生じ、工事の発注・進捗に影響を与えたことや隣接している家屋への飛球対策など新たな検討項目が発生し、計画工程に遅れが生じた。	地域と意見交換を行うなど計画・設計に反映させたが、工事着手前に新たな要望や検討項目が発生したため、より多くの時間を要するや細部までの検討が必要であった。

今後の取り組み方針

計画・設計時、他事例などを基に細部まで検討、現地調査を行い、課題等の整理や地域との意見交換などより地域と密着した公園整備を行う必要がある。
 平成28年度の主な取り組みとして、(仮称)美東公園では管理棟及びトイレ・遊戯施設等の整備、若夏公園では管理棟及びトイレ・遊戯施設・修景施設・その他公園整備工事を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)



資金使途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定については、指名競争入札および随意契約(地方自治法施行令167条の2)を実施している。 ○予算の範囲内で事業が執行でき、計画通りの施設整備が完了できたため、適正な規模であったと考えられる。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要であるかなどが額の確定時に検査・確認しており、適切だったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	